



西合志南小学校だより

西南小の風

【校訓】明るく かしく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成



令和8年7月10日

第4号

文責 西村 英一

授業参観、PTA 教育講演会お世話になりました

7月3日の授業参観及びPTA教育講演会では、大変お世話になりました。

授業参観では、意欲的に学習する姿や真剣に考えて学習する姿等から、子供さんの成長ぶりを感じていただくことができたのではないかと思います。

ところで、授業参観では、複数の学年でスマホやタブレットに関するトラブル防止の授業を行いました。

さらに、PTA教育講演会では、「子どものスマホ、このままで大丈夫？」というテーマで講師の方からお話をいただきました。現在、誰もが何らかの形でインターネットと関わりをもって生活しています。小学生の低学年、あるいは就学前からスマホやタブレットとの付き合い方を子供たちに教えていく必要があります。親子で参加できる講演ということで、子供さんと一緒になってスマホやタブレットの使い方を考える良い機会となったようでした。PTA教育講演会の計画、運営、進行をしてくださったPTAの担当の皆さまにも感謝申し上げます、ありがとうございました。

来週には、5年生と6年生が外部講師から「スマホ・ネット安全教室」を受講します。4年生も、『ユーチューブ』の望ましい視聴の仕方について外部講師から講話をいただきます。

各家庭でも、子供さんのスマホやタブレットの活用について点検を行い、子供さんが被害を受けない利用方法、加害行為をしてしまわない利用方法について話し合ってみてください。

犯罪に巻き込まれない対策の1つは、相談すること

子供たちは、7月18日から夏休みに入ります。普段できない体験や学びができる絶好の機会です。しかし、水難事故や交通事故、落雷事故、そして犯罪に巻き込まれてしまうことが多くなる時期でもあります。保護者の皆さんには、子供さんが安全に過ごせるように日々の様子に目配りをしていただきたいと思います。

ところで、最近特に心配している事が2点あります。

1つ目は、子供たちが「闇バイト」に巻き込まれないかということです。この犯罪に関わってしまうきっかけは、ネット情報だけでなく、知人や友達からの紹介も多いそうです。知人や友達の紹介であれば心理的なハードルが下がったり、断りにくかったりします。手始めにさせられる事の一例としては、地域の家の住人の数や家族構成を聞き出すことがあります。小学生でもできる内容です。そして、一度教えてしまえば、その先に待っているのは恐怖で縛り付けられた「抜け出せない構造」です。先日の新聞記事には、警察に捕まったある中学生は、「自分も家族も殺される」とおびえていたとありました。まさに恐怖で逃れられない状況です。一方で、「闇バイト」の誘いに引っかからなかった人の話として、「周りに相談できる人がいたから引っかからなかった。」ということが紹介されていました。犯罪から子供たちを守るためにも、子供たちが相談しやすい関係づくりを私たち大人がつくっていくことが大切だと感じます。

2つ目の心配は、盗撮や性的被害に遭わないかということです。学年や性別に関係なく被害に遭う可能性があります。夏は肌の露出が多くなりがちです。学校の標準服だけでなく、外出時の私服について、子供さんが盗撮や性犯罪の標的にならないための服装や着こなし、行動について、子供さんと話をさせてください。

なお、学校ホームページの「西南小アレコレ」に、外部の相談窓口を複数紹介しています。ご確認ください。

公道でのマナー

登校時、子供たちが道路を横断しようとしていると、自動車が止まってくださいました。素早くサッと渡り終えたその子供たちは、振り返って「ありがとうございました。」と気持ちの良い声でお礼を言いました。するとドライバーの方が「いってらっしゃい。」と窓を開けて笑顔で声をかけてくださいました。とても心があたたま光景でした。他の通学路でも止まってくださった自動車にお礼を言う場面を見ます。子供たちには日頃から交通ルールを守るように話していますが、マナーも身につけ、実行できる子供たちが増えてきていることにうれしくなりました。



授業参観の様子



PTA教育講演会の様子



路側帯を並んで歩く
1年生の様子